

SS特講(化学基礎実験)

11月27日(金)と12月4日(金), 1学年選択授業『SS特講』で, 化学基礎実験を実施しました。

まず, 市販されている炭酸水にはどれくらいの二酸化炭素が溶存するのかを電子天秤で検証し, 中学理科で学習したメスシリンダーの精度や, 化学基礎で学習するホールピペット・メスフラスコの精度がどれ位正しいかを電子天秤を用いて検証しました。

また, ガスバーナーの外炎・内炎の温度の違いやサイフォンの原理といった, 実験器具の基本操作について学びました。その後, 冷却の仕方による再結晶の違い, そして簡易的なペーパークロマトグラフィーによる水性インクの色分離といった, 化学を学ぶ上で大事な『粒子概念』について, 実験を通じて学びました。

次年度2学年で履修する『SS化学基礎』において, 生徒たちが精力的に化学を学ぶことを期待します。

